

→ ICAOのAviation System Block Upgradesの分析

- ・平成28年度、ICAOにおいて世界航空交通計画の見直しが予定され、当該計画には各種施策の実施環境が整う時期を明示したAviation System Block Upgrades (ASBUs) が含まれている。
- ・今後の施策の検討・導入準備に資するよう、ASBUsとCARATSの各種施策について比較分析作業等を行う。

→ 指標に係るデータの評価分析

- ・CARATSの指標のうち平成20年度と比較して状況が悪化したものについて部分的な傾向を確認したところであり、今後は遅延等について詳細分析を行い、問題を抽出・評価することを目指す。

→ Mini Global Demonstration IIの実施

- ・米国FAAが進める世界的な航空交通情報の情報交換ネットワークのデモンストレーションに参画し、技術的知見を獲得しつつ、国際的な次世代の運用概念の実現など貢献する。

→ 航空分野関係者の増加に向けた取組の実施

- ・本年度作成したパンフレット等を活用したCARATSの取組の周知、CARATSオープンデータの活用の拡大などにより、航空分野に興味を持つ一般の方々に対する普及啓発を促進し、航空分野の関係者の増加に貢献する。

平成 28 年度（2016 年度）の主要な取組について（案）

平成 28 年度（2016 年度）の意思決定年次施策は 4 項目（別紙参照）である。これらの項目について、より詳細な議論や費用対効果分析を行い、着実な意思決定を目指す。また、2015 年度までに意思決定を行った項目について、導入に向けた準備を進めていく。

このような個々の施策に係る検討を従前のおりししっかりと実施するのに加え、2016 年度は、ICAO における世界航空交通計画（GANP）の見直しが予定されており、これを踏ふまえ、世界的な流れと調和させ、社会的なニーズに合った検討とすることが重要である。

主要な取組①：ICAO の Aviation System Block Upgrades の分析

ICAO における世界航空交通計画（GANP）には、各種施策の実施環境が整う時期を 5 年毎の 4 段階の Block で整理した Aviation System Block Upgrades（ASBUs）が含まれており、現在は ASBUs の 1 段階目（Block0）の時期である。

CARATS の各施策は、現行の ASBUs と大きな差異があるものではないが、平成 28 年後半には ICAO において GANP の見直しが予定されているところ、GANP の見直しに伴う ASBUs の見直しにより、CARATS の各施策に影響を及ぼす可能性もあるため、今後の施策の検討・導入準備に資するよう、各ワーキングにおいて見直された ASBUs と CARATS の各種施策について比較分析作業等を行う。

主要な取組②：指標に係るデータの評価分析

現段階では、CARATS の施策の多くは準備段階であり施策の効果分析は困難であるが、これまで収集されたデータから利便性に係る指標が悪化していることが明らかになっている。今年度は、データの経年傾向や関連情報を確認することにより、出発便や到着便の遅延率については交通量の増加との相関等を確認した。今後、CARATS 施策を目標に向けて効果の高い施策として導入していくためにも、現状分析により抽出された問題に対応する形での導入を目指すことが重要である。

そのため、遅延等に係るデータについて更なる分析等を行い、対応の方向性を提示するため、問題を抽出・評価することを目指す。

主要な取組③：Mini Global Demonstration II の取組

我が国は、米国 FAA が進める次世代の航空交通管理を支援する情報共有基盤の構築手法を検証する実証試験「ミニ・グローバル・デモンストレーション 2」に参加し、現在、実証試験に向けたシナリオ検証に取り組んでいるところ、今後、米国 NextGen 試験施設に参加国及び企業が参集しデモンストレーションが実施されることになっている。前回実施した「ミニ・グローバル・デモンストレーション」に引き続き、技術的な知見の獲得及び世界規模による実証試験への参加を通じて次世代の運用概念の実現に向けた国際標準の策定に貢献する。

主要な取組④：航空分野関係者の増加に向けた取組の実施

これまで我が国の航空交通管制システムの高度化の取組について、そのコンセプト、目標、方向性等について広く周知・広報として、学会やシンポジウム等の場を通じて、適宜 CARATS の取組について発表等実施し普及に努めてきたところである。我が国における航空分野の裾野拡大のためにも CARATS の取組についての周知活動は重要であり、航空分野に興味を持つ一般の方々に対する普及啓発の促進をこれまで以上に実施する必要がある。本分野の関係者の増加に資するため、今般、対外的にわかりやすいことを目的として作成したパンフレット等を活用した CARATS の取組の周知、CARATS オープンデータの活用の拡大などを各 WG メンバー等関係者の協力を得て実施する。

平成 28 年度（2016 年度）に意思決定を行う予定の施策一覧

0I-30-3 空対空監視（ASAS）の活用/ATSA-AIRB 運航（UAT）

0I-31-2 地上における情報の充実

-滑走路面異物検知装置の導入

EN-4-4 気象観測情報の高度化/新たなセンサーの導入や既存センサーの充実

- 衛星による新たな観測情報

EN-10 空港面の監視能力の向上

- ADS-B（空港面）

（WG 毎の施策の割り振り）

ATM 検討 WG 0I-30-3、EN-10

PBN 検討 WG 無し

情報管理検討 WG 0I-31-2

航空気象検討 WG EN-4-4